

平成25年度北本市協働事業提案制度事業提案一覧

資料1

	事業名	提案者	事業概要と目的	市と協働で行う意義	担当課	審査結果	理由
1	高齢者への御用聞きサービスと生活支援を行う助け合いネットワーク作り	買物カゴ	外出が困難な高齢者へ買い物支援を行う。生活上の困りごとを聞き取り、提案者で対処できるものについては、提案者が対処し、対処できない事項については市に報告したり、他のNPOと協力して解決する。希望により親族へ安否確認報告も行う。また、商品は可能な限り大型店舗ではなく、個人商店から買い上げることで、個人商店の活性化を図る。	事業の信用度が向上する。	高齢介護課	採択	—
2	荒川「田んぼの学校」プロジェクト	特定非営利活動法人 荒川藁の会	高尾地区で市民を対象に「田んぼの学校」を開催し、自然環境を大切にする農作業や雑木林、湿地の手入れを定期的に行い、収穫祭などの交流会を開催する。市民に里山の再生活動を行ってもらおう事で、市民の憩いとなる景観づくりの促進を図るとともに、次代の自然景観の守り手を育成することを目的とする。	単独で行うより、参加人数の増加が見込まれ、活動に広がり生まれ、市の知見を得ることで将来を見据えた計画が立てやすくなる。	—	不採択	里山の保全活動の必要性については理解できるが、事業計画は市民公益活動の範囲であり、提案団体独自の活動として実施することが望ましい。
3	介護予防事業	吉川将太	年10回の講座を通して、60歳以上の高齢者に一次予防を目的としたストレッチや筋力トレーニングの方法を指導する。また、その講座を受けた人がリーダーとなって、地域の別の高齢者に講座の内容を伝えていけるようにすることで、住み慣れた地域で元気であり続けることを目標にしていく。	公共施設を利用することで低コストでの事業展開が可能で事業の認知度を増やせる。また、「住み慣れた地域で安心した暮らし」について市と考えることができること。	高齢介護課	採択	—
4	配食(手作り弁当)	特定非営利活動法人 ワーカーズコレクティブとて	高齢者、病中病後の人、産前産後の人、留守宅児童などの生活課題を抱える人を対象に配食サービスを行う。地域で孤立している人や生活課題をもつ人達の課題に気づき、解決への糸口を見つける。また、市内の空き店舗や空き家などを利用し、町の活性化に寄与することと、障がい者に食事を作ってもらおうことで、働きにくさを抱えた人の就労支援の場の提供ができる。	事業の信用度の向上が期待できる。	—	不採択	配食サービスの必要性については理解できるが、市ではすでに類似の委託事業を実施している。また、この事業は利用者の負担を考慮して低額で手作り弁当を提供しており、市民ニーズも高いことから、今後も市の事業としてさらに拡充する方向性があるため。
5	多世代交流スペース「リビングルーム」運営事業	特定非営利活動法人 キタミン・ラボ舎	北本団地商店街の空き店舗を借り上げ団地内でいらなくなった家具を物々交換することにより、地域の多世代間の交流や放課後のこどもの居場所としての機能を持った交流スペースの運営事業を行う。また、リビングルームに集う子どもとその保護者が主体となったイベント「子ども商店街」を開催する。子どもから大人までの幅広い世代が活動に主体的に携わることで、地域コミュニティの課題解決、多世代交流、地域のアイデンティティづくりを目標とする。	地域でのニーズ調査や事業広報。これまでと違う地域の課題解決方法を提案することが可能になる。	—	不採択	事業計画は市民公益活動の範囲であり、提案団体独自の活動として実施することが望ましい。
6	地域デビューしませんか！！～もっと北本を好きになる～	特定非営利活動法人 北本市観光協会	地域活動に参加したい市民に対し、北本市の歴史文化、市内の市民公益活動団体の活動を紹介し、実際に観光協会が行う事業へ参加をしてもらい、市民公益活動の推進を目的とする。	市が広報を行う事により、観光協会に興味のなかった市民へのアプローチが可能になる。	—	取下	—